

## パートナーシップ構築大賞 経済産業大臣賞を受賞

山陽特殊製鋼株式会社(代表取締役社長 宮本 勝弘、本社 兵庫県姫路市)は、3月13日に都内で開催された「第3回パートナーシップ構築シンポジウム」(主催:経済産業省、後援:日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会)において、「パートナーシップ構築宣言」<sup>※1</sup>を行った企業の中から優良企業として選定され、栄えある経済産業大臣賞<sup>※2</sup>を受賞しました。

当社は2020年9月に、パートナーシップ強化を通じた相互発展を目指し「パートナーシップ構築宣言」を公表<sup>※3</sup>以降、下請代金支払方法の改善、発注手続き事務の円滑化および情報化への積極的対応、サイバーセキュリティの向上に向けた説明会の開催など、当社経営理念「信頼の経営」に基づく公平な取引の推進に取り組んできております。

### (受賞理由) カーボンニュートラルの実現に向けたパートナー企業の GHG 排出量算定支援

今回の受賞は、サプライチェーンにおける GHG<sup>※4</sup>排出量の削減に向けたパートナー企業の排出量実績値算定の支援において、①パートナー企業の GHG 排出量算定をサポートするため、パートナー企業向けカーボンニュートラル説明会を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催(2024年度3回。約60社参加)、②パートナー企業における Scope 3<sup>※5</sup>排出量の把握および削減の必要性について、当社調達担当取締役から直接パートナー企業へ呼びかけ、③パートナー企業の GHG 排出量算定支援のツール(クラウドシステム)や算定シート、マニュアルの無償提供、④説明会終了後、パートナー企業と当社およびコンサル会社との対面での個別相談会を毎回開催するなど、パートナー企業に寄り添ったきめ細かで丁寧な対応などが高く評価されたものです。

当社は、従来から取り組んできたエコプロセスの推進、グリーンエネルギーの活用を一層強化することに加え、GHG 排出量の定期的把握を含めたパートナー企業との連携深化、GHG 排出量の削減に向けたパートナー企業の支援強化、カーボンニュートラル説明会の開催頻度向上・参加パートナー企業の拡大を通じて、2050年カーボンニュートラルを目指して取り組みを加速してまいります。

※1 事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から「代表権のある者の名前」で宣言するものです。具体的には、((1)サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携、((2)下請企業との望ましい取引慣行の遵守を宣言するものです。2025年3月14日時点で、61,000社を超える企業が宣言しています。  
「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイト <https://www.biz-partnership.jp/>

※2 過去の経済産業大臣賞受賞企業

第1回(2022年)花王(株)、第2回(2024年)日立ソリューションズ

※3 当社HPを参照ください <https://www.sanyo-steel.co.jp/ckfinder/userfiles/20200930.pdf>

※4 Greenhouse Gas の略称。地球温暖化の原因となる温室効果ガスである、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)の7種類をさします。

- ※5 Scope1：事業者自らによる GHG の直接排出  
Scope2：他社で生産されたエネルギーの使用に伴う間接排出  
Scope3：自社のサプライチェーンに相当するその他の間接排出

(ご参考)



選定委員長の後藤康雄成城大学教授（左）、  
弊社宮本社長（中央）、  
弊社担当(当時) 後藤マネージャー（右）



記念盾

- ・ 本件に関する経済産業省公表資料（2025年3月14日付）  
<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250314001/20250314001.html>

「お問い合わせ先」 山陽特殊製鋼株式会社 総務部広報グループ（TEL：079-235-6002）

以 上